

# 地域の明日を伝えるCATV

過疎化が進む中山間地。最も避けたいことは情報過疎です。地域の情報を伝える手段のひとつ「CATV」、情報を隅々まで届けようと頑張っている姿を、ケーブルテレビのスタッフに聞きました。



番組編集中のケーブルテレビのスタッフ

## 明日を拓く

**やりがいを感じるときはいつ？**

〈上田〉自分が制作したものが放映され、視聴者から「見たよ」「おもしろかったよ」と声をかけていただいたときです。

〈三上〉雪などでケーブルに障害が発生し、迅速に復旧できたときなどです。

**どんな仕事に挑戦したいですか？**

〈三上〉ケーブルテレビのインターネットは遅いという誤解があります。同軸でもまだまだ速度は上げられます。施設の能力を最大限引き出す努力をしたいです。

〈横貝〉唯一の女性職員として、母や妻、女性の感性を生かした番組制作をしたい。この町で大切にしなければいけないものを放送してみたいです。

〈上田〉島根県ケーブルテレビ協議会の取り組みで、各局が制作した番組を放送してもらえようになっていますが、飯南局から発信しているものはないのでつくってみたいと思います。

**CATVの地域への役割は何ですか？**

〈横貝〉地域を元気にしていきたい。

〈三上〉他局に負けないテレビ放送やサービスに努め、評価されるようになりたいですね。

〈上田〉地元に残っている若い人が残ってくれるためには、飯南高校はなくてはならないと思います。協力できることがあれば取り組み、例えば飯南高校報道部に作品発表の場を提供し、彼らのモチベーションを高められないだろうかと思っています。



左から三上さんと横貝さんと上田さん

今月の表紙写真



町の畜産農家を訪ねてお話を聞きました。紙面と異なり、牛の息吹や飼育者とのコミュニケーションがリアルに伝わってくるのが映像です。面白い番組を作るには、やはり「人・物・金」が必要です。限られた予算の中、CATVの役割の一つには、地域の皆様が知った方がよいことを伝えることがあります。そんな番組づくりには「情報と知識」が求められますが、それは、スタッフだけでなく地域の皆様の理解と協力が大切です。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。今季の冬の到来は早く、12月初旬からの積雪となりました。

師走には衆議院議員総選挙がおこなわれ、日本のかじ取りを再び安倍政権へ託すこととなりました。「地方創生」が叫ばれています。が、ばら撒きでなく真にこの地域の維持、発展になる政策であるよう議会も注視していかなくてはなりません。

私たちのこの地域は、厳しい自然環境の山間地域であります。様々な立場の人の支えあいで成り立っています。生まれ育った地域、あるいは縁あって移り住む地域、本町が住みよい町でありますよう、議員一丸となり頑張っております。

議会広報編集委員会 早樋 徹雄



議会広報編集委員会